

敦賀市知育・啓発施設指定管理者候補者選定委員会選定結果

1 募集した施設の名称等

敦賀市知育・啓発施設（設計業務委託を含む。）

2 指定管理者候補者（設計業務契約候補者）

丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体

3 選定方法

提出された提案内容等について、10人の審査員（*）により評価及び審査を行いました。

審査項目は、内容審査として①事業全体の考え方、②設計業務、③指定管理期間前の準備業務、④管理運営業務で小計900点、価格審査で小計1000点の、審査員1人1,000点満点です。

（*）オブザーバーとして、株式会社青山財産ネットワークス・Hifリゾート株式会社も参画。

4 参加者

（仮称）敦賀市知育・啓発施設指定管理者募集要項に基づき5グループ（1グループ辞退）が参加しました。

5 審査結果

審査結果は以下のとおりです。

【総合審査】

グループ名	評点
丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体	7,496
B	7,488
C	6,235
D	5,071

（内訳別添）

【価格審査】

グループ名	評点
C	1,000
丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体・B・D	998

【内容審査】

グループ名	評点
丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体	6, 498
B	6, 490
C	5, 235
D	4, 073

6 主な質疑

- (1) 実施体制（企業間の役割分担、常駐者数、地元雇用等）
- (2) 設計提案についての費用負担（イニシャルコスト・ランニングコスト）
- (3) 設計変更の柔軟性
- (4) 女性・子どもの視点からのアクセシビリティ
- (5) 利用者層（高齢者等）
- (6) K P I の設定方法
- (7) 書籍の設置方法（閲覧用・販売用）
- (8) 自主事業の料金設定・実現性
- (9) イベントの提供方法
- (10) 駐車場の確保

7 主な意見（各審査項目について）

- (1) 実施体制
 - ・丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体（以下「選定事業者」という。）は、自社の中で建築部門を持ち、完結することができる提案であった。指定管理業務としての経験もある。
 - ・選定事業者は、構成員である(株)編集工学研究所も含めて、かなりの思い入れを感じた。グループとしての支援体制は選定事業者が評価できる。
 - ・会社としてのバックアップ体制について、グループBはいささか不安である。
 - ・グループBは、指定管理業務の経験が乏しいため、楽しみではある反面、これから先の運営を考えると不安である。
- (2) 設計業務関係
 - ・選定事業者のレイアウトは、オーソドックスであるため、変わる可能性は低い。
 - ・グループBの屋外提案について、今後、土地活用事業者と費用負担割合について協議が必要である。冬期5か月間、利用できないというコンセプトは本当に大丈夫かどうか。相当、変更する必要があるのではないか。

- ・空間のレイアウトについて、グループBは明快であるが、かなり変わる可能性がある。変更となった場合の対応を考慮するとリスクである。
- ・集客については、外観から内装と、人の流れが考慮されているグループBの提案が評価できる。
- ・グループBの空調関係について、提案どおりに実際に行うことができるのか不安。キッチンの場所にも疑問を感じる。
- ・女性と子育て世代の観点から見ると、グループBがよかった。子どもと母親が施設に行きたくなる提案だった。

(3) 管理運營業務関係

- ・選定事業者は、図書館とのアライアンスという面で、イベントやワークショップについて、図書館と連携が取れており評価できる（読み聞かせなど）
- ・グループBはソフトが充実している。しかし、実際に市民協働とまちづくりの関係で提案内容を行うことができるかとなると、しっかりとしたビジョンを持っていないように感じた。
- ・地域に実際に住んでいる子育てをしてきた母親として見たときに、親しみやすいか、気軽に足を運べるかという点で、グループBが評価できる。
- ・選定事業者は、ネットワークをたくさん持っていて、できることがたくさんあると思うが、地域の一般住民が親しみやすいかという面においては、グループBの方が評価できる。
- ・ターゲットとなっている子どもを育てる学習の場と考えると、選定事業者は完璧である分、きちっと学びたい方とか高齢の男性方とかに世代的にマッチングしていると思う。しかし、大きな目的として、敦賀市で育っていく若い世代に本と親しみやすい場所を提供するという意味で、女性目線、子育て目線で見たときには少し、選定事業者はできることは多いがハードルも高いため、ターゲットとする子育て世代の母親、小さい子ども、小中高校生が親しみやすく、足が運びやすい場所かと言われると、疑問が残る。
- ・駅西地区の全体的なバランスや調和の関係で柔軟に動くことができるのは、グループBの方だと考えた。

審査項目別 各提案事業者評点表

				B	C	丸善 グループ	D
1. 事業全体の考え方	(1)基本方針	500	100	82.5	67.5	80.0	52.5
	(2)実施体制		400	310.0	230.0	330.0	240.0
2. 設計業務	(1)実施方針	3,000	200	145.0	120.0	135.0	95.0
	(2)設計コンセプト		200	155.0	130.0	160.0	100.0
	(3)平面計画		1100	852.5	715.0	825.0	385.0
	(4)内装計画		1100	797.5	770.0	770.0	467.5
	(5)VIデザイン		400	300.0	220.0	270.0	210.0
3. 指定管理期間前の準備業務	(1)実施方針	1,700	100	72.5	57.5	65.0	45.0
	(2)運営計画の策定及び土地活用事業者との協議		300	195.0	142.5	195.0	135.0
	(3)書籍等の選定・調達・設置		700	560.0	297.5	595.0	350.0
	(4)開設準備		600	420.0	330.0	390.0	315.0
4. 管理運営業務	(1)実施方針	3,800	200	140.0	135.0	150.0	100.0
	(2)書籍その他のメディアの提供		1000	675.0	475.0	750.0	500.0
	(3)その他の定常的な知育・啓発サービス		700	490.0	420.0	525.0	315.0
	(4)イベント等の企画及び運営事業		700	525.0	455.0	507.5	297.5
	(5)集客業務		400	270.0	230.0	260.0	150.0
	(6)施設の管理に関する業務		200	135.0	125.0	125.0	85.0
	(7)市のまちづくりに関する事項		200	130.0	105.0	125.0	75.0
	(8)自主事業		200	135.0	115.0	125.0	80.0
	(9)収支計画		200	100.0	95.0	115.0	75.0
内容審査点		9,000	9,000	6,490	5,235	6,498	4,073
価格審査点		1,000	1,000	998	1,000	998	998
総合審査点		10,000	10,000	7,488	6,235	7,496	5,071